

国際スケート連盟

コミュニケーション No. 1857

アイス・ダンス

技術規程のための要件- 2014/15 シーズン

技術規程ではアイス・ダンス技術委員会が定める要件によって補われるべき規定がいくつか指定されている。

- 1 シーズンのみ有効と技術規程で定められている要件

- 国際競技会のパターン・ダンス課題
- 国際競技会のパターン・ダンスの音楽の要件
- ショート・ダンスのリズムまたはテーマ、必須要素およびガイドライン
(必須要素にはパターン・ダンス要素およびパーシャル・ステップ・シーケンスのキー・ポイントおよびキー・ポイントの特徴を含む)
- フリー・ダンスの必須要素

2014/15 シーズンの要件は本コミュニケーションに含まれる。

- 継続的に有効と技術規程で定められている要件

- 衣装の要件
- コールの仕様および難度レベル(LOD)
- 採点基準
- 価値尺度表(SOV)

これらは必要に応じて更新される。現在継続的に有効な要件に対する変更(2014年7月1日付けで有効となるもの)は今後のコミュニケーションにて発表される。

1. 国際ノービス競技会のパターン・ダンス課題

規程第 613 条第 1 項において次のように定められている:国際ノービス競技会のパターン・ダンス競技は毎年アイス・ダンス技術委員会によって、6月1日より前に、公表した後の年の7月1日に有効となるISUコミュニケーションで発表される。

1.1. ベーシック・ノービス

2つのパターン・ダンスを滑ること

グループ1:#1 フォーティーンステップと#4 ヨーロピアン・ワルツ

グループ2:#2 フォックストロットと#5 アメリカン・ワルツ

- 2014/15 シーズンと2年毎のシーズン:グループ2
- 2015/16 シーズンと2年毎のシーズン:グループ1

1.2. アドバンスト・ノービス

2つのパターン・ダンスを滑ること

グループ1:#4 ヨーロピアン・ワルツと#20 タンゴ

グループ2:#3 ロッカー・フォックストロットと#9 スターライト・ワルツ

グループ3:#12 キリアンと#23 ブルース

各グループは2つのパターン・ダンスを含む。以下のようにシーズンごとに指定された2グループから1グループを大会の最初の練習前に抽選する。

- 2014/15 シーズンと3年毎のシーズン:グループ1と2
- 2015/16 シーズンと3年毎のシーズン:グループ2と3
- 2016/17 シーズンと3年毎のシーズン:グループ3と1

2. 国際競技会のパターン・ダンスの音楽の要件

規程第 607 条第5項において次のように定められている:国際競技会のパターン・ダンス競技には現行の ISU 公式アイス・ダンス音楽を使用するものとする、ただしアイス・ダンス技術委員会が 1 つまたは複数のパターン・ダンスの音楽については定められた要件を満たす音楽をカップルが提出すると決定した場合を除く。

2014/15 シーズンにおいては、カップルは以下のパターン・ダンスの音楽を各自で用意するものとする。

- 国際ノービス競技会
 - ベーシック・ノービス:#2 フォックストロット
 - アドバンスト・ノービス:#20 タンゴ、#9 スターライト・ワルツ
- 他の国際競技会および国際アダルト競技会:大会の要項での組織委員会の発表に従う。

音楽はそのパターン・ダンスのリズムに沿ったものを選ばなければならず、ボーカル入りでもかまわない。必要なシーケンス中のテンポは一定でなければならず、またそのパターン・ダンスに要求されたテンポ(ISU アイス・ダンス・ハンドブック 2003 を参照のこと)±2拍/分に従わなければならない。

注:

- ISU 公式アイス・ダンス音楽から 1 曲を選ぶのでもよい。この場合、選んでよい曲は 1 番から 5 番の曲のみであり、カップルは規程第 343 条第 1 項に従って競技会用の音楽を用意するものとする。
- 上記の音楽要件やテンポ指定の違反は、規程 353 条第1項 n)(ii)に従ってペナルティが与えられる。
- カップルが用意した音楽に対して規程 608 条第 1 項 d)を適用する際は、そのダンスの最初のステップが 1 小節内の第 1 拍で開始しなければならないと定める(ただしダンスの説明において別途指定されている場合を除く)。

3. 2014/15 シーズンのショート・ダンスの要件

3.1 リズム(ISU コミュニケーション第 1787 号からの変更点は下線を付してある)

規程第 609 条第 1 項 a ではリズムおよび/またはテーマはアイス・ダンス技術委員会によってシーズンごとに毎年選ばれると定めている。2014/15 シーズンは以下のリズムが選ばれた。

シニア

スパニッシュ・ダンス・リズム

パターン・ダンス要素とパーシャル・ステップ・シーケンスは、同じ音楽で滑走しなければならない。パターン・ダンス要素とパーシャル・ステップ・シーケンスを通して音楽のテンポは一定していなければならない、またパターン・ダンス課題であるパソ・ドブレのテンポ要件に従わなければならない。すなわち毎分 2 拍子 56 小節(毎分 112 拍)±2 拍であること。

スパニッシュ・ダンス・リズムについては『Addition to the ISU Ice Dance Music Rhythms Booklet 1995』で説明されている。(ISU ウェブサイト参照、スパニッシュタンゴを除外するよう修正されている)

ジュニア

サンバ

または

サンバに加えて、次のラテン・アメリカン・リズムから1つまたは2つ:

ルンバ, チャチャ, マンボ, メレンゲ, サルサ

パターン・ダンス要素はサンバのリズムで、サンバのスタイルで滑走すること。パターン・ダンス要素内を通して音楽のテンポは一定していなければならない、またパターン・ダンス課題であるシルバー・サンバのテンポ要件に従わなければならない。すなわち毎分2拍子54小節(毎分108拍)±2拍であること。

ラテン・アメリカン・リズムについては『ISU Ice Dance Music Rhythms Booklet 1995』の13から20ページで説明されている(注意:タンゴとパソ・ドブレは説明に含まれておらず許されない)。

3.2 ガイドラインおよび変更

3.2.1 ガイドライン

規程第609条第1項a)ではガイドラインは毎年発表されると定めている。2014/15シーズンは、アイス・ダンス技術委員会は以下のガイドラインを採用した。

注:2014年ISU総会の決定があるまで、このガイドラインは規程609条第1項a)に含まれる。

要素はダンスの組み合わせの中に統合されるべきで、概念と構成は統一されたダンスの印象を生み出さなければならない。

3.2.2 変更

規程第609条第1項d)およびh)はアイス・ダンス技術委員会によって毎年変更されうるとしている。2014/15シーズンは、アイス・ダンス技術委員会は以下の特別な変更を採用した。

第1項d): “パターンは常に一定方向に進行しなければならない、また氷上のロング・アクシスを横切ってよいのはリンクの各エンド(フェンスから20メートルを超えない範囲)で1回のみである。ループはロング・アクシスを横切らない限り、回転方向によらず許される。しかしながら、以下の行為は違反要素にしない。

- 非接触ステップ・シーケンスとシルバー・サンバのステップ 16-23 を行う間にロング・アクシスを横切ること
- 以下の場合に、フェンスから20メートルを超えない範囲でループを1つ行なってロング・アクシスを横切ること
 - シニアのショート・ダンスでパーシャル・ステップ・シーケンスの最中
 - ジュニアのショート・ダンスでシルバー・サンバの2つ目を始めるとき
- 時計回りの非接触サーキュラー・ステップ・シーケンスを行うこと(ジュニアにのみ適用)”

第1項h): “最初の動きによって計時が開始した後は、カップルは10秒間を超えて一箇所に留まってはならない。プログラムの間、2回までの完全なストップ(各最長5秒間まで)または1回の完全なストップ(最長10秒間まで)のいずれかが許される。シニアのショート・ダンスでは、上記の完全なストップのうち最長5秒間までの1回をパーシャル・ステップ・シーケンス内で行ってもよい。選択した音楽にふさわしい振り付けはいかなるものも許される(両手間隔以内のセパレーションを含む。ただし、パーシャル・ステップ・シーケンス内での許されたストップではパーシャル・ステップ・シーケンスのホールドの要件を満たさなければならない)。”

3.3 必須要素

規程第 609 条第 2 項ではショート・ダンスの構成に含まれるべき必須要素のリストおよびその要素の要件は本規定で与えられた要素の中から毎年発表されると定めている。2014/15 シーズンは、アイス・ダンス技術委員会はショート・ダンスの構成に含まれるべき必須要素を以下の通り採用した。

• パターン・ダンス要素とパーシャル・ステップ・シーケンス (ISU コミュニケーション第 1787 号からの追加点には下線を付した)

シニア：

- パターン・ダンス要素 1 つ：パソ・ドブレを 1 シーケンス、ステップ #1 がジャッジの左側になるように滑走すること。
- パーシャル・ステップ・シーケンス・イン・ホールドを 1 つ：
 - パターン：氷上を完全に一周すること。パターン・ダンス要素の終わった所から開始し、同じところで終わること
 - 時間：4 小節からなる音楽のフレーズを任意の回数繰り返した時間（フレーズの繰り返しの数に制限はない）
 - 4 に記載のキー・ポイントが含まれなければならない。キー・ポイントは、腕を伸ばしたハンド・イン・ハンド以外であれば変形を含めどのダンス・ホールドで滑ってもよい。キー・ポイント 1（女性）とキー・ポイント 2（男性）は、パターン・ダンス要素のキー・ポイント 1 とほぼ同じ場所で一緒に滑らなければならない。キー・ポイント 3（女性と男性）は、パターン・ダンス要素のキー・ポイント 3 とほぼ同じ場所で滑らなければならない。パーシャル・ステップ・シーケンスが完結しなければならない。
 - ホールド：規程第 603 条第 4 項の最初の項目に関わらず、腕を伸ばしたハンド・イン・ハンドのホールドは使うことが許されず、ホールド変更や許されたストップの間でもパートナー同士はいつでもつながった状態でなければならない。

パターン・ダンス要素に続いてパーシャル・ステップ・シーケンスを滑る。

ジュニア：

シルバー・サンバを 2 シーケンス – 別個に滑走すること。各シーケンスの 1 番のステップが水面の異なる側となるように滑走すること。

特記事項：

- パターン・ダンスの記載、表、ダイアグラムは“ISU Handbook Ice Dance 2003”に掲載されている。
- 規程第 608 条第 1 項は以下のように読み替えるものとする：
 - b) 場所：追加→“しかしながら、パターン・ダンス要素のシルバー・サンバのステップ 16-23 でロング・アクシスを横切ることは許される”
 - d) タイミング：始めの文は、“パターン・ダンス要素とパーシャル・ステップ・シーケンスは、それぞれのパターン・ダンス要素やパーシャル・ステップ・シーケンスの最初のステップが 4 小節からなる音楽フレーズの 1 拍目で開始されるよう、音楽に厳密に合わせて滑走しなくてはならない。”と読み替える。

• ダンス・リフト：最大 1 つのショート・リフト

• ステップ・シーケンス

シニア：1 つの非接触ミッドライン・ステップ・シーケンスまたは非接触ダイアゴナル・ステップ・シーケンス

ジュニア：1 つの非接触ミッドライン・ステップ・シーケンスまたは非接触ダイアゴナル・ステップ・シーケンスまたは非接触サーキュラー・ステップ・シーケンス

• 1 つのセット・オブ・シーケンシャル・ツイズル

4. パターン・ダンス要素とパーシャル・ステップ・シーケンスのキー・ポイントおよびキー・ポイントの特徴—シーズン 2014/15
 シルバー・サンバ

ジャッジ側で1番ステップを滑るシーケンス(1SS) ジャッジと反対側で1番ステップを滑るシーケンス(2SS)	キー・ポイント1 女性のステップ 9 (LFO Sw3) 女性のステップ 16-18 (RBO, LBI-Qlb, RBI-SwR) 男性のステップ 16-18 (LFO, RFI-Qlf, LFI-SwR)	キー・ポイント2 女性のステップ 26a-26b (RBO, XF-LBI) 男性のステップ 26 (LFO3) 女性と男性のステップ 27-31 (RBO, CR-LBO, XF-RBIO (フリー・レッグの前-後-前のスイング), XF-LBI, RBO-Qlf)	キー・ポイント3 女性および男性のステップ 34-49 (LFI, RFO, LFI-Ch, RFI, LFO, RFI-Ch, LFI, RFO, LFI-Ch, RFI, RF-Lff, LF-Rff, RF-Lff, LF-Rff, RF-Lff Qlf at end, LFI, RFI)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ (#9 女性, 16, 17, 18) 2. Sw3(#9 女性): 正確なターン 3. Sw3(#9 女性): フリー・レッグの正確なスイング動作 4. SwR(#18): フリー・レッグの正確なスイング動作	1. 正確なエッジ 2. LFO3(#26 男性): 正確なターン 3. RBIO (フリー・レッグの前-後-前のスイング) (#29): フリー・レッグの正確なスイング動作 4. 正確なチェンジェッジ(#29) 5. 正確なクロス・ステップ・インフロント (#26b 女性, 29 と 30)	1. 正確なエッジ (#34, 37, 40, 43a, 48, 49) 2. 正しいスリップ・ステップ (#43b-47) 3. RF-Lff Qlf at end: 左足は 1/2 拍は氷上にあり、 続く 1/2 拍は氷上から離れる。

パソ・ドブレ

パターン・ダンス要素 (1PD)	キー・ポイント1 女性のステップ 8-12 (LB-Rff スリップ・ステップ, RB-Lff スリップ・ステップ, XB-LBO, XF-RBIO, XB-LBI) 男性のステップ 8-12 (RF-Lff スリップ・ステップ, LF-Rff スリップ・ステップ, XF-RFO, XB-LFIO, XF-RFI)	キー・ポイント2 男性のステップ 15, 16 (XB-LFO OpMo, RBO)	キー・ポイント3 女性のステップ 26-28 (CR-RFO, CR-LFO, CR-RFO-SwR RFI OpMo to LBI (カウント4と1の間)) 男性のステップ 26-28 (CR-RFO, CR-LFO, CR-RFO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なスリップ・ステップ (#8, 9) 3. 正確なチェンジェッジ (#11) 4. 正確なクロス・ステップ・インフロント (#10 男性, 11 女性, 12 男性) 5. 正確なクロス・ステップ・ビハインド (#10 女性, 11 男性, 12 女性)	1. 正確なエッジ 2. 正確なクロス・ステップ・ビハインド (#15) 3. OpMo (#15): 正確なターン 4. OpMo (#15): フリー・フットの正確な配置	1. 正確なエッジ 2. SwR: フリー・レッグの正確なスイング動作 3. OpMo: 正確なターン 4. OpMo: フリー・フットの正確な配置
パーシャル・ステップ・シーケンス (2PD)	キー・ポイント1 女性のステップ 8-12 (LB-Rff スリップ・ステップ, RB-Lff スリップ・ステップ, XB-LBO, XF-RBIO, XB-LBI)	キー・ポイント2 男性のステップ 8-12 (RF-Lff スリップ・ステップ, LF-Rff スリップ・ステップ, XF-RFO, XB-LFIO, XF-RFI)	キー・ポイント3 女性のステップ 28 (CR-RFO-SwR RFI OpMo to LBI (カウント4と1の間)) 男性のステップ 28 (CR-RFO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なスリップ・ステップ (#8, 9) 3. 正確なチェンジェッジ (#11) 4. 正確なクロス・ステップ・インフロント (#11) 5. 正確なクロス・ステップ・ビハインド (#10, 12)	1. 正確なエッジ 2. 正確なスリップ・ステップ (#8, 9) 3. 正確なチェンジェッジ (#11) 4. 正確なクロス・ステップ・インフロント (#10, 12) 5. 正確なクロス・ステップ・ビハインド (#11)	1. 正確なエッジ 2. SwR: フリー・レッグの正確なスイング動作 3. OpMo: 正確なターン 4. OpMo: フリー・フットの正確な配置

注: ステップおよびステップの追加の説明は規程第 604 条および“ISU Handbook Ice Dance 2003”の I-20(シルバー・サンバ)と I-16(パソ・ドブレ)で定義/掲載されている。
 パターン・ダンスの教育DVD (注文番号 ID4)は ISU 事務局から入手できる。

5. フリー・ダンスの必須要素—シーズン 2014/15

規程第 610 条第 2 項ではウェルバランス・フリーダンス・プログラムに含まれるべき必須要素とその要件は本条項で定められた項目の中から毎年発表されるものと定めている。アイス・ダンス技術委員会はシーズン 2014/15 のウェルバランス・フリーダンス・プログラムの必須要素を下記の通り定めた。

5.1 ベーシック・ノービス

ダンス・リフト: 最大1つのショート・リフト

ストレートライン・ステップ・シーケンス・イン・ホールド(ミッドラインまたはダイアゴナル)
または、
カーブド・ステップ・シーケンス・イン・ホールド(サーキュラーまたはサーペンタイン)
から1つ

セット・オブ・シンフロナイズド・ツイズルを1つ

ダンス・スピンはベーシック・ノービスのフリー・ダンスの必須要素には含まれない。ただし、カップルが同じ軸のまわりを片足で(もしくは両足で)滑走するような回転動作を行うことは、ホールドと回転数の制限なく許される。カップルはこのような動作を振り付けの一部として用いてよい。テクニカル・パネルはこのような動作は無視し、ジャッジはこのような動作を許されたストップの数には入れないものとする。

レベルの説明: ベーシック・ノービスのフリー・ダンスでは、全ての必須要素はレベル2までの特徴だけが数えられる。それ以上の特徴はレベルの要件としては数えられず、テクニカル・パネルは無視するものとする。

5.2 アドバンスト・ノービス

ダンス・リフト: 最大2つの異なる種類のショート・リフト

スピン: 1つまで(注: コンビネーション・スピンは許されない)

ストレートライン・ステップ・シーケンス・イン・ホールド(ミッドラインまたはダイアゴナル)
または、
カーブド・ステップ・シーケンス・イン・ホールド(サーキュラー・サーペンタイン)
から一つ

セット・オブ・シンフロナイズド・ツイズルを1つ

5.3 ジュニアおよびシニア

ダンス・リフト

シニア

- 最大1つの異なる種類のショート・リフトおよび最大1つのロング・リフト
(ショート・リフトの種類はロング・リフトで行うショート・リフトの種類と異なること)
または
- 最大3つの異なる種類のショート・リフト

ジュニア

- 最大1つのロング・リフト
または
- 最大2つの異なる種類のショート・リフト

最大1つのダンス・スピン(スピンまたはコンビネーション・スピン)

1つのストレート・ライン・ステップ・シーケンス・イン・ホールド(ミッドラインまたはダイアゴナル)

1つのカーブド・ステップ・シーケンス・イン・ホールド(サーキュラーまたはサーペンタイン)

1つのセット・オブ・シンクロナイズド・ツイズル

最大1つのコレオグラフィック・エレメント

2014年のISU総会の決定待ち:規程 604 条第19項はアイス・ダンス技術委員会がコレオグラフィック・エレメントの要件を指定すると定めている。2014/15 シーズンは、アイス・ダンス技術委員会は以下の要件を採用する。

コレオグラフィック・エレメントは以下のどちらかでなければならない。

- コレオグラフィック・ダンス・リフト:10秒までのダンス・リフトで、必須のダンス・リフトを全て行った後に行われるもの
- コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント:必須のダンス・スピンを行った後に行われる回転動作で両方のパートナーが少なくとも2回転するもの、ただし
 - ホールドは問わない
 - 片足、両足、またパートナーの一方が持ち上げられるが一定の高さに留まらないもの、もしくはこれら3つの組み合わせたもの
 - 共通の回転軸が移動してもよい

6. 必須要素の要件

ステップ・シーケンスのスタイル(パーシャル・ステップ・シーケンス以外):(ショート・ダンス及びノービス・フリーダンスにおける)唯一のおよび(ジュニアとシニア・フリーダンスにおける)最初の必須のステップ・シーケンスの難度レベルは「スタイルA」のレベルの特徴により、(ジュニアとシニア・フリーダンスにおける)2番目の必須のステップ・シーケンスの難度レベルは「スタイルB」のレベルの特徴により決定される。「スタイルA」と「スタイルB」のレベルの特徴は、継続的に有効な技術規程を更新する今後のコミュニケーションで発表される。

ステップ・シーケンスとパーシャル・ステップ・シーケンスにおける許されない要素:ストップ、パターンの逆走、ループは、ステップ・シーケンスとパーシャル・ステップ・シーケンスに含まれてはならないか、制限される。これらは以下のように許されない要素として特定される。

	パーシャル・ステップ・シーケンス	唯一の/最初のステップ・シーケンス(スタイルA)	2番目のステップ・シーケンス(スタイルB)
ストップ*	本コミュニケーションの3.2.2で許された1つ以外	許されない	許されない
パターンの逆走	許されない	許されない	2回目以降の逆走、または2小節の間より長い逆走
ループ	2回目以降	許されない	許されない

*規程第 604 条で定義されているように、ダンス・スピンとピルエットはストップである。

必須要素は、必須のステップ・シーケンスとパーシャル・ステップ・シーケンスの最中を除き、プログラム中のどこで行ってもよい。

7. 用語集

本コミュニケーション内に書かれた専門用語については以下の定義を参照すること:

チェンジエッジ	規程第 604 条第 1 項 b)
レベルの特徴	
(ステップ・シーケンス)スタイルAおよびB	本コミュニケーション 第 6 項
コレオグラフィック・ダンス・リフト	本コミュニケーション 第 5.3 項
コレオグラフィック・エレメント	規程第 604 条第 19 項
	(2014 年ISU総会の決定待ち)
コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント	本コミュニケーション 第 5.3 項

コンビネーション・スピン	規程第 604 条第 14 項 e) (ii)
クロス・ステップ・ビハインド	規程第 604 条第 5 項
クロス・ステップ・イン・フロント	規程第 604 条第 4 項
カーブド・ステップ・シーケンス・イン・ホールド (サーキュラーまたはサーペンタイン)	規程第 603 条第 4 項
ダンス・ホールド	規程第 605 条
ダンス・リフト	規程第 604 条第 16 項
ダンス・スピン	規程第 604 条第 14 項 e)
エッジ	規程第 604 条第 1 項 a)
フリー・ダンス	規程第 610 条
ハンド・イン・ハンド ホールド	規程第 605 条第 1 項
キー・ポイント	本コミュニケーション 第 4 項
キー・ポイントの特徴	本コミュニケーション 第 4 項
ラテン・アメリカン・リズム	ISU Ice Dance Music Rhythms 1995, 13-20 ページ
ロング・アクシス	規程第 601 条第 1 項
ロング・リフト	規程第 604 条第 16 項 e)から g)
許されない要素	本コミュニケーション 第 6 項
非接触サーキュラー・ステップ・シーケンス	規程第 603 条第 4 項
非接触ダイアゴナル・ステップ・シーケンス	規程第 603 条第 4 項
非接触ミッドライン・ステップ・シーケンス	規程第 603 条第 4 項
パーシャル・ステップ・シーケンス	規程第 603 条第 4 項
パソ・ドブレ(パターン・ダンス)	ISU Handbook Ice Dance 2003, I-16
パターン・ダンス	規程第 607 条および第 608 条
パターン・ダンス要素	規程第 603 条第 6 項
パターン・ダンス・シーケンス	規程第 603 条第 3 項
ピルエット	規程第 604 条第 14 項 d)
必須要素	規程第 609 条第 2 項と第 610 条第 2 項
リズム	規程第 606 条第 3 項
セット・オブ・シーケンシャル・ツイズル	規程第 604 条第 14 項 b) (ii)
セット・オブ・シンクロナイズド・ツイズル	規程第 604 条第 14 項 b) (i)
ショート・ダンス	規程第 609 条
ショート・リフト	規程第 604 条第 16 項 a)から d)
シルバー・サンバ(パターン・ダンス)	ISU Handbook Ice Dance 2003, I-20
スリップ・ステップ	規程第 604 条第 9 項
スパニッシュ・ダンス・リズム	ISU Ice Dance Music Booklet 1995 の追補版 (ISU ウェブサイト参照)
スピン	規程第 604 条第 14 項 e) (i)
ストレートライン・ステップ・シーケンス・イン・ホールド (ミッドラインまたはダイアゴナル)	規程第 603 条第 4 項
スウィング・ロール	規程第 604 条第 8 項 a)
スウィング(アメリカン・ワルツ・タイプ)・スリー・ターン	規程第 604 条第 11 項 b)
テンポ	規程第 606 条第 2 項
スリー・ターン	規程第 604 条第 11 項 a)
ターン	規程第 604 条第 11 項から第 14 項 a)
ダンス・リフトの種類	規程第 604 条第 16 項
ウェルバランス・フリー・ダンス・プログラム	規程第 610 条第 2 項

日本語訳の改定履歴

- 2014 年 6 月 17 日 第 1 版作成
- 2014 年 9 月 24 日 第 2 版作成
 - 4 ページ：パーシャル・ステップ・シーケンスの「パターン」と「時間」および特記事項の「タイミング」の記述を変更した。

Milan,
April 1, 2014
Lausanne,

Ottavio Cinquanta, President
Fredi Schmid, Director General